

社会資本整備審議会 道路分科会
平成30年度 第3回 四国地方小委員会
議事概要

1. 日時：平成31年3月11日（月） 10：45～11：45

2. 場所：高松サポート合同庁舎北館 13階 災害対策室

3. 出席者

[委員長]

山中 英生 徳島大学大学院社会産業理工学研究部 教授

[委員]

石原 俊輔 四国経済連合会 専務理事

倉内 慎也 愛媛大学大学院理工学研究科生産環境工学専攻 准教授

野々村 敦子 香川大学創造工学部創造工学科 准教授

畠中 智子 高知のまちづくりを考える会 代表

4. 議事内容

(1) 四国地方小委員会及び新規事業採択時評価について

(2) 新規事業候補箇所の選定について

(3) 新規事業採択時評価

- ・一般国道56号（四国横断自動車道）大方四万十道路
- ・一般国道55号（阿南安芸自動車道）海部野根道路

5. 審議結果

一般国道56号（四国横断自動車道）大方四万十道路及び一般国道55号（阿南安芸自動車道）海部野根道路の新規事業化は妥当である。

6. 主な意見

【一般国道56号（四国横断自動車道）大方四万十道路】

- ・地元が熱望する道路であり、工事についても工夫しながら早期整備すべきである。
- ・現道には太平洋が見える魅力的な区間もあり、今後、現道の活かし方を地域と考えていくことが重要である。
- ・津波対策はソフト面のみでは限界があり、ハード面の整備（当事業）を是非進めるべきである。
- ・地域の産業を維持していくには、当区間を含め道路をどう活用していくのか、地域と今後も連携をお願いする。

【一般国道55号（阿南安芸自動車道）海部野根道路】

- ・ネットワークB/Cは1を超えており、四国8の字ネットワークの一部を構成する当区間を事業化することは防災面でも意義がある。
- ・サーフィン以外にも多くある魅力を発信していくことで、来訪者が多くなり交通量も増えるのではないかと。そういった地域づくりの動きも必要である。
- ・現時点では交通量は少ないが、逆に伸びしろがある地域であり、道路整備によるインパクトは大きい。国、県、市町村が連携し、事業に併せて魅力ある地域づくりを進めることが重要である。

【その他意見】

- ・今回の区間に限らず、将来の自動運転社会の到来を見据えた事業評価のあり方についても、今後議論が必要となるのではないかと。